

事業の概要	事務事業名	特色ある学校づくり推進事業			担当部	教育委員会事務局	担当課	学校教育課			
	実施計画	2	年目								
	新基本計画	市政戦略編	○	分野別計画編	3 教育・子育て 12 学校教育	3 教育力を向上し、調和のとれた人格形成を支援します					
	予算区分	一般会計	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費	大	8 中	4
	根拠法令・個別計画	①		②			③				
	目的	何(誰)を対象に	ア)市内小学校5年生 イ)～エ)各小中学校								
	目的	どのような状態にするか	子どもたちが夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さを学ぶとともに、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進する。								
	手段	どのような事業を実施するか	ア)JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 トップアスリートなどが「夢先生」として、自らの体験をもとに「夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さ」などを講義と実技を通じて子どもたちに伝えることで、子どもの人格形成に資するもので、JFA(公益財団法人日本サッカー協会)と協定を締結し、小学5年生全クラスを対象にクラス単位で実施する。 イ)各学校が家庭、地域との連携を目指し、学校経営に対して、意見や助言をいただく。 ウ)コミュニティ・スクール導入検討委員会を設置し、小牧市におけるコミュニティ・スクール導入について検討を行う。 エ)学校ごとに、その教育方針に基づく特色ある教育活動を展開し、多様で柔軟な子どもの個性を伸ばすとともに、保護者も含めた地区住民と連携して「特色ある学校づくり」を目指す。								
	事業内容										
	28年度	ア)JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 JFA(公益財団法人日本サッカー協会)と協定を締結し、小学5年生全クラス(44クラス、1,353人)を対象にクラス単位で実施した。 イ)各学校が学校評議員会を開催した。(25校、55回) エ)学校ごとに、その教育方針に基づく特色ある教育活動を実施した。(三ツ淵小:米づくり、一色小:梨栽培等)									
29年度	ア)JFA(公益財団法人日本サッカー協会)と協定を締結し、小学5年生全クラス(45クラス)を対象にクラス単位で実施する。 イ)各学校で、学校評議員会を開催し、意見や助言をいただく。 ウ)コミュニティ・スクール導入検討委員会を設置し、検討を行う。 (平成29年度) エ)学校ごとに、その教育方針に基づく特色ある教育活動を実施する。										

事業費	財源内訳 (千円)	H28		H29	
		当初予算額	決算額	当初予算額	
		合計	27,800	26,936	28,395
		国支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	6,000	5,849	6,460
		一般財源	21,800	21,087	21,935
特定財源の説明		こども夢・チャレンジ基金繰入金		こども夢・チャレンジ基金繰入金	
事業費内訳 (千円)	細々節		H28	H29	
			当初予算額	決算額	
	8 学校評議員謝礼		1,800	1,680	1,800
	コミュニティ・スクール導入検討委員会委員謝礼				135
	13 夢の教室開催委託料		6,000	5,849	6,460
19 特色ある学校づくり推進事業補助金		20,000	19,407	20,000	
従事者数	正職員(人数)		0.02	0.05	0.05
	その他職員(人数)		0.00	0.00	0.00

業績及び自己評価	ステップ I	影響を与える展開方向の指標		単位	目指す方向性	基準値	H26	H27	H28	H29		
		①	市内小中学校における不登校者のうち、登校ができるようになった者および、良い変化があった者の割合	%	↗	46.2	27.9	41.9	37.3			
		②										
		基本施策の展開方向の指標に対する影響(貢献等)										
		H28 実施結果	・事業の内容と指標が合致していなため、指標の検討が必要。 ・地域との連携、特色ある学校、子どもの夢や目標をはかる適切な指標の設定が難しい。									
		ステップ II	事業の成果指標		単位		H26	H27	H28	H29		
			①	夢の教室に参加したクラス数	クラス	目標	-	-	-	-		
						実績	-	44	44			
			②			目標						
						実績						
事業の活動指標			単位		H26	H27	H28	H29				
①	特色ある学校づくり事業実施校		校	目標	25	25	25	25				
				実績	25	25	25					
②				目標								
				実績								
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因、今後の見通し												
H28 実施結果	それぞれの事業を、今後も継続して行く。 夢の教室開催事業については、小学5年生全クラスで実施し、今後の見通しについては、JFAが事業を継続する限り、同規模で実施する。小学5年生のクラス数の増減等により、対象・事業費は、増減する。											
ステップ III	要因を踏まえた事業の見直し											
	H28 実施結果	引き続き、現在の事業内容に沿った取り組みを行う。										

一次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	維持	よりよい学校づくりに寄与する事業であるため、引き続き事業を継続していく。
	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの		

二次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	維持	一次評価のとおり。
	実計ヒアリング実施要否	不要	
事業の位置づけ	実施計画事業として継続		